

社会資本総合整備計画

国見町中央地区

(第4回変更)

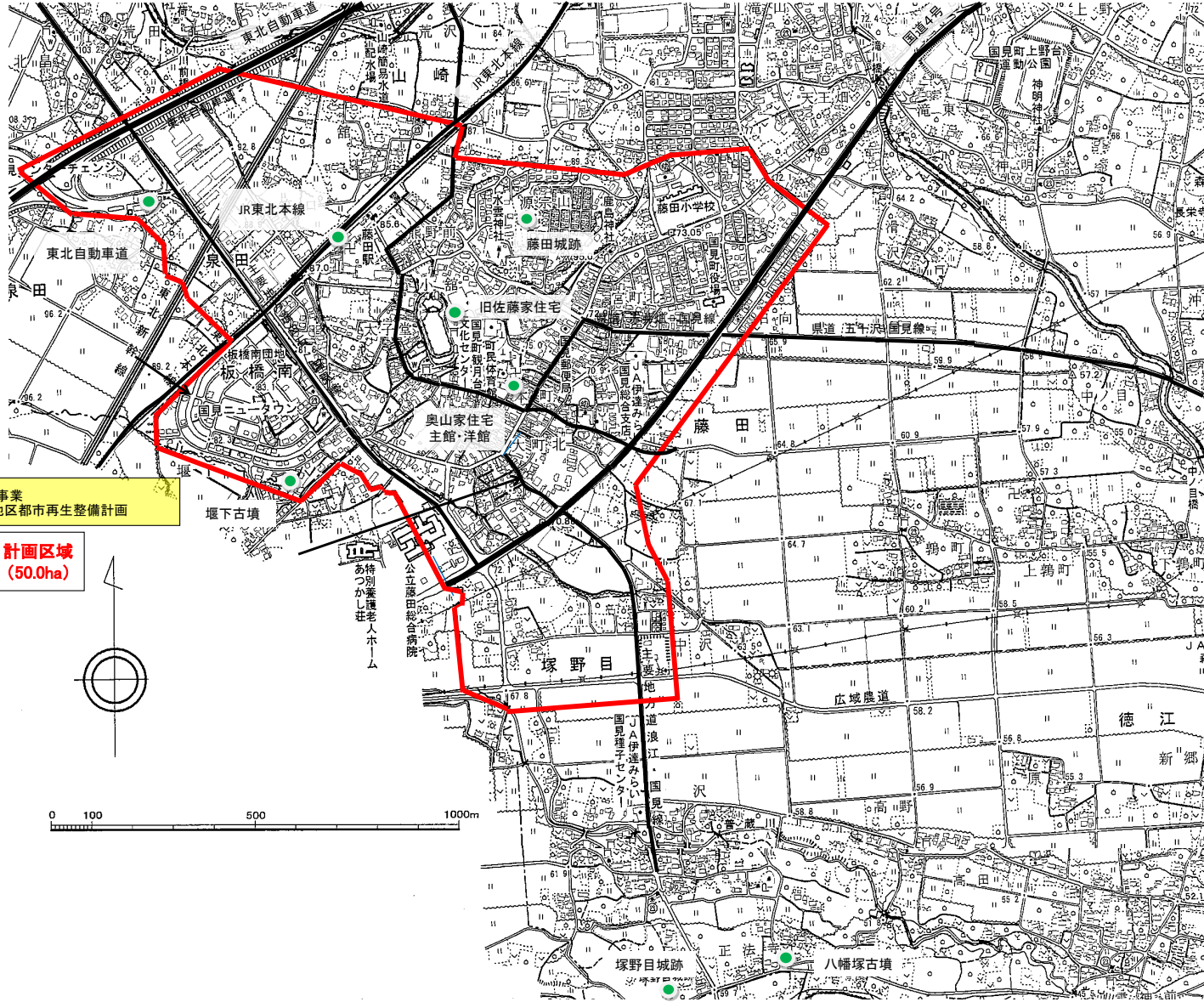
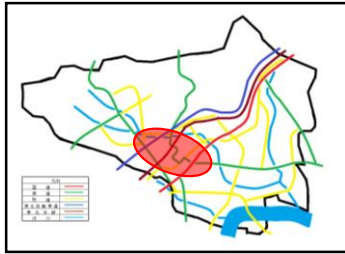
ふくしまけん くにみまち
福島県 国見町

平成27年12月

社会資本総合整備計画

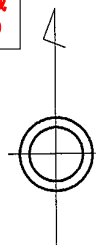
計画の名称	国見町中央地区都市再生整備計画														
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)				交付対象	福島県国見町									
計画の目標	<p>本地区は、東北自動車道国見IC、国道4号、JR東北本線藤田駅など交通網が集中する地区である。その特性を生かすため、総合観光交流施設等の整備と魅力ある住環境の整備により、”人々が交流し、体と心に癒しと安らぎを与える場”を形成し、交流人口を増やし、さらには定住人口の維持を目指すものです。</p>														
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 定住人口(住民基本台帳)を10,144人(H24)から10,019人(H28)とし減少数を減らす。 子育てをしやすい環境を整備し、子どもを産み、育てやすい環境と思う保護者の数を増やす。 地域交流の場を創出し、町外の人と交流する場があると思う住民数を増やす。 														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考			
									当初現況値 (H24当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)				
定住人口(住民基本台帳)を調査する。									10,144人	-	10,019人				
子どもを産み、育てやすい環境と思う保護者を調査する。									39.5%	-	45.0%				
町外の人と交流する場があると思う住民を調査する。									11.6%	-	25.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,194.0百万円	A	1,194.0百万円 (うち提案分29.0百万円)	B	0.0百万円	C	0.0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案事業分)+C)/(A+B+C)		0.2%				
交付対象事業															
A1 都市再生整備計画事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生	一般	国見町	直接	国見町	国見町中央地区都市再生整備計画事業	総合観光交流施設 28,000m2、街路照明 31基	国見町						1,194.0	別添
小計(都市再生整備計画事業)													1,194.0		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

計画の名称	国見町中央地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)	交付対象	福島県 国見町 (ふくしまけん くにみまち)



1-A-1 基幹事業
国見町中央地区都市再生整備計画

計画区域
(50.0ha)



凡例	
計画区域	
基幹事業	
関連事業	

社会資本整備総合交付金チェックシート(例)

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 国見町中央地区都市再生整備計画 事業主体名: 国見町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○